# 2020年度 桃山学院大学生の
# 学生生活上の諸活動に関する実態調査

桃山学院大学 学生生活委員会

■本調査について

多様化する学生の実態を把握することは、学生サービスの更なる充実に繋がるとともに、大学の自己点検・自己評価の指針として重要である。

そこで本学では、１９９４年より毎年1 回、ポイントを絞った形で独自の学生生活実態調査を実施している。９４年度は奨学金制度の改革および特に下宿生へのサポート体制の確立に向けた資料作りとして「経済状況調査」を実施し、翌９５年度は和泉キャンパス移転に伴う学生生活の環境変化およびクラブ・サークル活動、大学祭など正課外のキャンパスライフおよびイベントへの関心度を探る「課外活動に関する実態調査」を実施、また９６年度は大学への登校時刻・出席コマ数から食事のとり方、趣味・嗜好品、悩み事までにいたる「個人生活」について実施した。各々の調査結果は「下宿物件の開拓」「奨学金制度の改革」「学生福利厚生等施設の建設」などに生かされたほか、「自由回答」にある様々な「声」を大学として責任をもって受け止め、それに応える機関としての「わたしの提案箱（A.C.C ）制度」の実施（１９９８年度から発足）など、学生サービス諸施策の立案や制度改革に取り組み、一定の成果を上げてきた。

それから二十数年が経過した現在、課外活動分野の調査のみならず、学生生活における正課活動の「位置づけ」から個々の諸活動にまで項目を掘り下げ、本学学生をとりまくすべての環境と動向について調査を行った。

■調査の概要

〇調査期間：２０２０年１２月7日（月）～１２月１３日（日）

〇調査方法：M-Portのアンケート機能を使用。

〇調査対象：学部学生5,996名

〇有効回答者数：1,765名（回答率：29.4%）

〇表記方法：各設問の回答結果を視覚的に把握できるよう、択一式の設問は円グラフにより割合を、
複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示した。

# 調査項目について

## 1 学業について

資格課程

進路

## 2 課外活動について

クラブ・サークルへの加入状況

クラブ・サークルの満足度

ボランティア活動

## 3 経済・生活状況について

学費

奨学金

奨学金の必要度

現在の住居

アルバイト

携帯電話（利用頻度や料金）

## 4 読書について

本学図書館の利用状況

読書に要する費用（1 ヶ月）

読書量（1 ヶ月）

読書に費やす時間（1 日）

## 5 悩み・健康について

現在の関心事

現在の悩み

困ったとき、悩んだ時の相談相手

日頃のストレス

日頃の健康

健康についての気遣い

飲酒

喫煙

嫌煙

睡眠時間

食生活

朝食

大学の食堂

昼食

## 6 情報関連について

パソコン保有状況

タイピング能力

パソコンの主たる利用目的

インターネットの利用

本学ホームページの利用

本学情報センター自習室の利用

本学からの情報

本学から送信されるメール

M-Port

Campus Guide

情報の確認手段

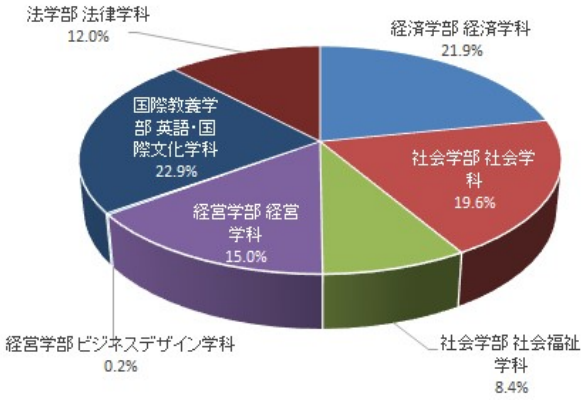
## 7 自由記述について

大学に対する要望

# 回答者の基礎資料（フェイス）

## ○所属する学部・学科

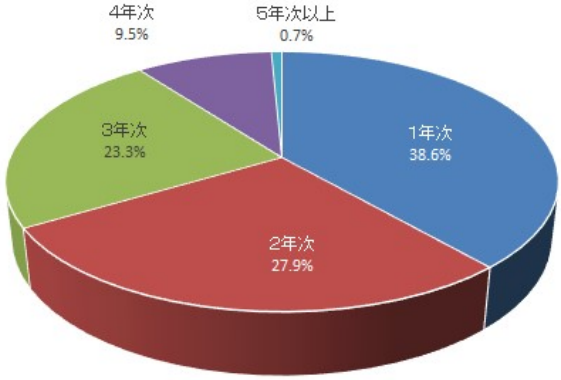
| | 学部・学科 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 経済学部 経済学科 | 386 | 21.9% |
| 3 | 社会学部 社会学科 | 346 | 19.6% |
| 4 | 社会学部 社会福祉学科 | 148 | 8.4% |
| 5 | 経営学部 経営学科 | 264 | 15.0% |
| 6 | 経営学部 ビジネスデザイン学科 | 4 | 0.2% |
| 7 | 国際教養学部 国際教養学科 | 0 | 0.0% |
| 8 | 国際教養学部 英語・国際文化学科 | 405 | 22.9% |
| 9 | 法学部 法律学科 | 212 | 12.0% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |




※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## ○年次

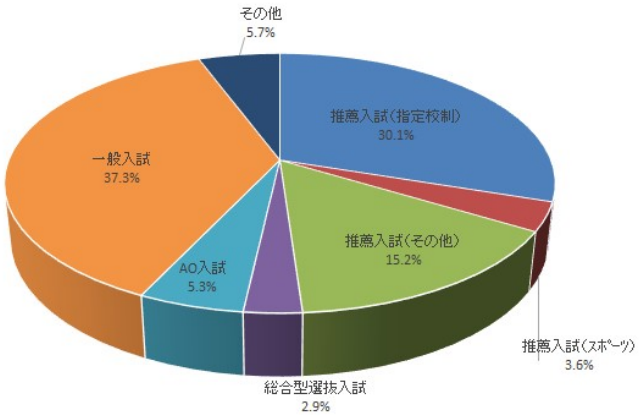
| | 年次 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1年次 | 681 | 38.6% |
| 2 | 2年次 | 492 | 27.9% |
| 3 | 3年次 | 411 | 23.3% |
| 4 | 4年次 | 168 | 9.5% |
| 5 | 5年次以上 | 13 | 0.7% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |




※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## ○入試制度

| | 入試制度 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 推薦入試（指定校制） | 531 | 30.1% |
| 2 | 推薦入試（ｽﾎﾟｰﾂ） | 63 | 3.6% |
| 3 | 推薦入試（その他） | 269 | 15.2% |
| 4 | 総合型選抜入試 | 51 | 2.9% |
| 5 | AO入試 | 93 | 5.3% |
| 6 | 一般入試 | 658 | 37.3% |
| 7 | その他 | 100 | 5.7% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



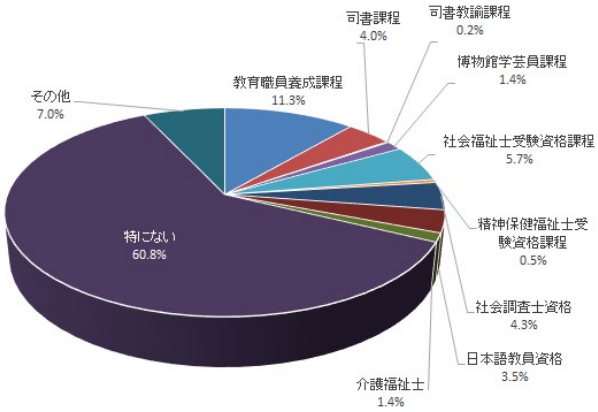

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 学業について

## Q.1 本学で一番取得したい資格課程は？

例年同様「特にない」が半数以上を占めるという結果ではあるが、前回調査時より6.8ポイント減少している。「司書教諭」と「社会調査士資格」が前回調査時より減少となった。昨年度は1割以下であった「教育職員養成課程」が上昇傾向にある。「司書課程」は2008年度調査では13.7%で最も人気の高い資格課程であったにも関わらず、年々割合が低下し、昨年度と同様、現在は4.0%と低い割合となっている。

| | 取得したい資格課程 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 教育職員養成課程 | 200 | 11.3% |
| 2 | 司書課程 | 70 | 4.0% |
| 3 | 司書教諭課程 | 3 | 0.2% |
| 4 | 博物館学芸員課程 | 25 | 1.4% |
| 5 | 社会福祉士受験資格課程 | 100 | 5.7% |
| 6 | 精神保健福祉士受験資格課程 | 9 | 0.5% |
| 7 | 社会調査士資格 | 76 | 4.3% |
| 8 | 日本語教員資格 | 61 | 3.5% |
| 9 | 介護福祉士 | 24 | 1.4% |
| 10 | 特にない | 1,073 | 60.8% |
| 11 | その他 | 124 | 7.0% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

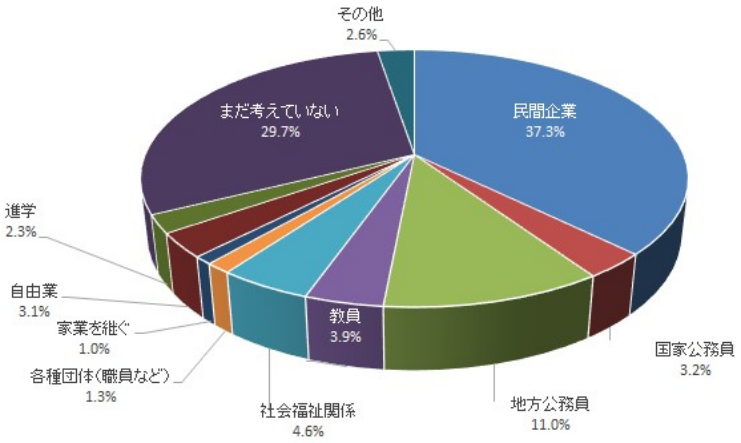



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.2 卒業後の進路希望は？

前回調査時と比べ地方公務員が1.5ポイント、社会福祉関係が3.1ポイント増加と変化している。「まだ考えていない」が1.4ポイント減少した。一方で民間企業就職希望者は4.0ポイント、国家公務員が0.9ポイント減少した。

| | 卒業後の進路希望 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 民間企業 | 659 | 37.3% |
| 2 | 国家公務員 | 56 | 3.2% |
| 3 | 地方公務員 | 194 | 11.0% |
| 4 | 教員 | 69 | 3.9% |
| 5 | 社会福祉関係 | 82 | 4.6% |
| 6 | 各種団体（職員など） | 23 | 1.3% |
| 7 | 家業を継ぐ | 17 | 1.0% |
| 8 | 自由業 | 54 | 3.1% |
| 9 | 進学 | 40 | 2.3% |
| 10 | まだ考えていない | 525 | 29.7% |
| 11 | その他 | 46 | 2.6% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

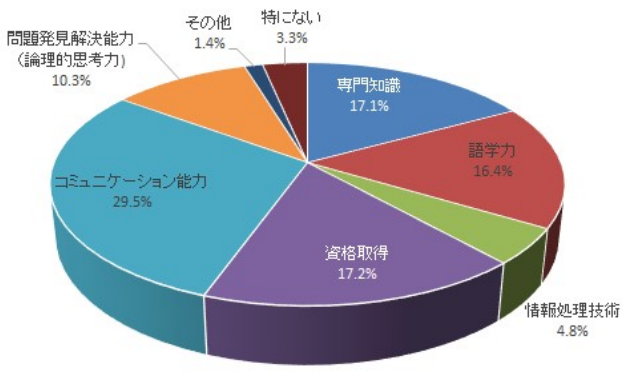



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.3 自分の進路のために一番身につけたいものは？

前回調査時に比べ、コミュニケーション能力が4.7ポイント、問題発見解決能力（論理的思考力）が4.8ポイント増加している。資格取得・語学力については微増である。

| | 進路のために身につけたいもの | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 専門知識 | 302 | 17.1% |
| 2 | 語学力 | 290 | 16.4% |
| 3 | 情報処理技術 | 84 | 4.8% |
| 4 | 資格取得 | 304 | 17.2% |
| 5 | コミュニケーション能力 | 521 | 29.5% |
| 6 | 問題発見解決能力（論理的思考力） | 181 | 10.3% |
| 7 | その他 | 24 | 1.4% |
| 8 | 特にない | 59 | 3.3% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |




※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

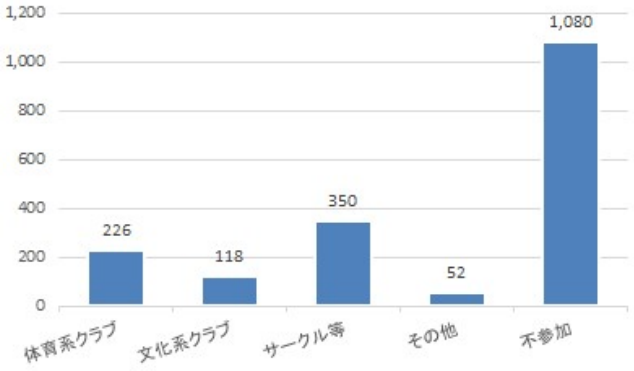
# 課外活動について

## Q.4 所属クラブはどこですか？　※複数回答可

今回は「不参加」が半数を上回り、COVID-19の影響で活動自粛など思うように活動ができなかった団体が多いことが影響したと推測される。

| | 所属クラブ | 人数 | 割合 |
|---|---|---|---|
| 1 | 体育系クラブ | 226 | 12.8% |
| 2 | 文化系クラブ | 118 | 6.7% |
| 3 | サークル等 | 350 | 19.8% |
| 4 | その他 | 52 | 2.9% |
| 5 | 不参加 | 1,080 | 61.2% |
| | 合計 | 1,826 | - |

※複数回答のため総和が100%となりません。

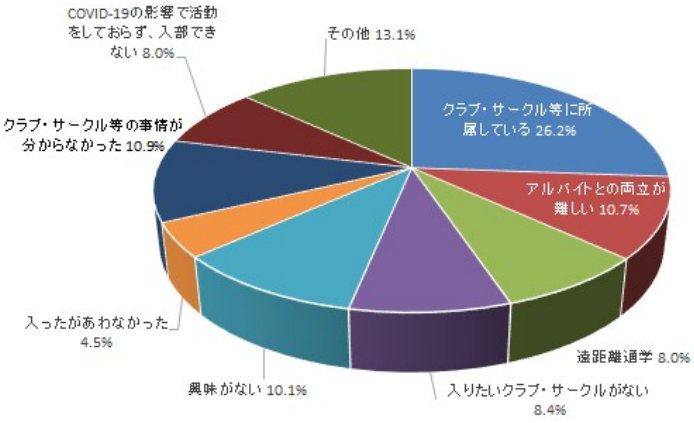



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.5 不参加の理由は？

今年度は「クラブ・サークルの事情がわからなかった」「COVID-19の影響で活動をしておらず、入部できない」という項目を追加した。合計で18.9%を占めており、COVID-19の影響をかなり受けているといえる。

| | 課外活動不参加の理由 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | クラブ・サークル等に所属している | 462 | 26.2% |
| 2 | アルバイトとの両立が難しい | 188 | 10.7% |
| 3 | 遠距離通学 | 141 | 8.0% |
| 4 | 入りたいクラブ・サークルがない | 149 | 8.4% |
| 5 | 興味がない | 179 | 10.1% |
| 6 | 入ったがあわなかった | 80 | 4.5% |
| 7 | クラブ・サークル等の事情が分からなかった | 192 | 10.9% |
| 8 | COVID-19の影響で活動をしておらず、入部できない | 142 | 8.0% |
| 9 | その他 | 232 | 13.1% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

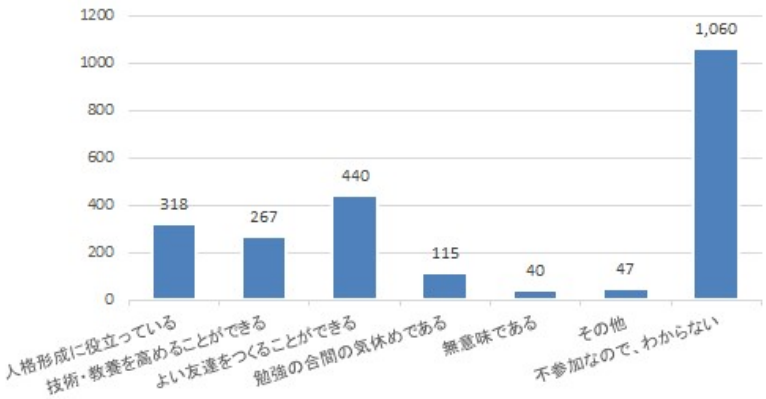



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.6 クラブ活動にはどんな効果があると思いますか？　※複数回答可

前回までの調査と同様、活動自体から得られる能力向上よりも「よい友達をつくることができる」「人格形成に役立っている」などの副次的効果に満足を覚える学生が多い結果となった。

| | クラブ活動の効果 | 人数 |
|---|---|---|
| 1 | 人格形成に役立っている | 318 |
| 2 | 技術・教養を高めることができる | 267 |
| 3 | よい友達をつくることができる | 440 |
| 4 | 勉強の合間の気休めである | 115 |
| 5 | 無意味である | 40 |
| 6 | その他 | 47 |
| 7 | 不参加なので、わからない | 1,060 |
| | 合計 | 2,287 |



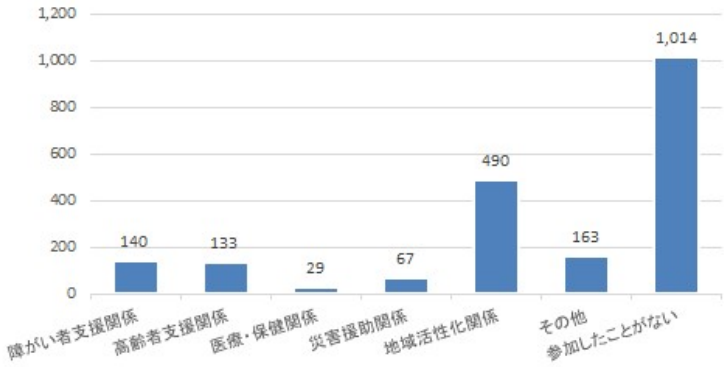

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 課外活動について

## Q.7 今までにどのようなボランティア活動に参加したことがありますか？　※複数回答可

参加経験「有」の中では、「地域活性化関係」のボランティア活動が上位となった。一方「参加したことがない」学生が約半数以上を占める結果となった。

| | 今までに参加したボランティア | 人数 |
|---|---|---|
| 1 | 障がい者支援関係 | 140 |
| 2 | 高齢者支援関係 | 133 |
| 3 | 医療・保健関係 | 29 |
| 4 | 災害援助関係 | 67 |
| 5 | 地域活性化関係 | 490 |
| 6 | その他 | 163 |
| 7 | 参加したことがない | 1,014 |
| | 合計 | 2,036 |




※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

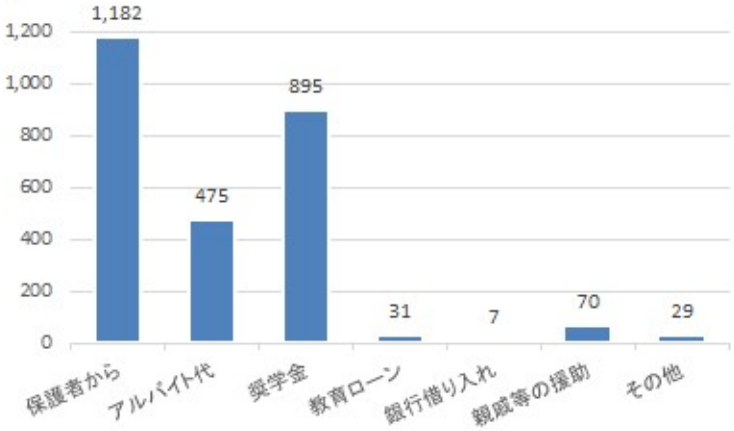
# 経済・生活状況について

## Q.8 学費納入手段として主に考えているものは何ですか？　※複数回答可

学費支弁の手段として「奨学金」の割合が年々増加しており、2008年調査結果では24.4%であったが、今回調査では33.3%となった。加えて、「アルバイト代」の割合が前回調査より8.7ポイント増でほぼ倍増となった。反対に「保護者から」の割合は今回調査では44.0%と年々減少傾向にあり、厳しい経済状況がうかがえる。なお、本設問の回答結果においては、ＣＯＶＩＤ-19の影響も深くかかわっていることが推測される。

| | 学費納入手段として主に考えているもの | 人数 | 割合 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者から | 1,182 | 44.0% |
| 2 | アルバイト代 | 475 | 17.7% |
| 3 | 奨学金 | 895 | 33.3% |
| 4 | 教育ローン | 31 | 1.2% |
| 5 | 銀行借り入れ | 7 | 0.3% |
| 6 | 親戚等の援助 | 70 | 2.6% |
| 7 | その他 | 29 | 1.1% |
| | 合計 | 2,689 | 100.0% |

※複数回答のため総和が100%となりません。

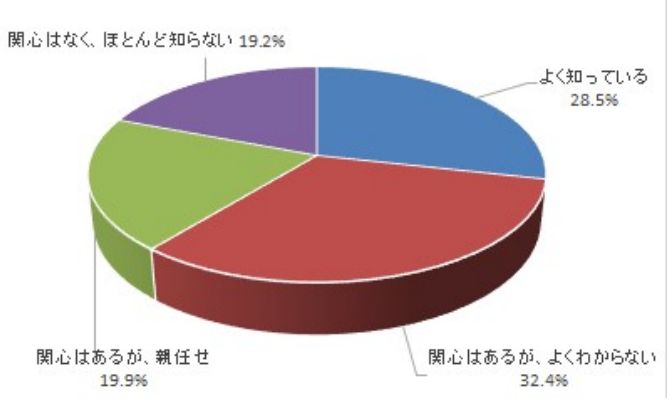



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.9 本学の奨学金制度についてどの程度知っていますか？

「関心はなく、ほとんど知らない」の割合が減少し、全体的に奨学金制度への関心が高くなっていることがうかがえる。また、「関心はあるが、よくわからない」の割合は年々増加しており、次のQ.10の結果とも関連してくるが、今後も大学としてよりわかりやすい説明や情報発信を行う必要がある。

| | 本学での奨学金について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | よく知っている | 503 | 28.5% |
| 2 | 関心はあるが、よくわからない | 572 | 32.4% |
| 3 | 関心はあるが、親任せ | 352 | 19.9% |
| 4 | 関心はなく、ほとんど知らない | 338 | 19.2% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



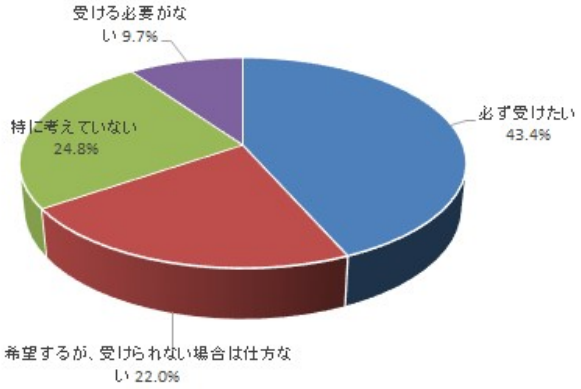

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 経済・生活状況について

## Q.10 奨学金の必要度はどのくらいですか？

奨学金については「必ず受けたい」の割合が高いのが特徴である。昨今の経済事情もありQ.8の学費納入手段の「保護者から」の回答が減っていることもあり、奨学金を「必ず受けたい」という回答が高い割合となっていると考えられる。

| | 奨学金の必要性 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 必ず受けたい | 766 | 43.4% |
| 2 | 希望するが、受けられない場合は仕方ない | 389 | 22.0% |
| 3 | 特に考えていない | 438 | 24.8% |
| 4 | 受ける必要がない | 172 | 9.7% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

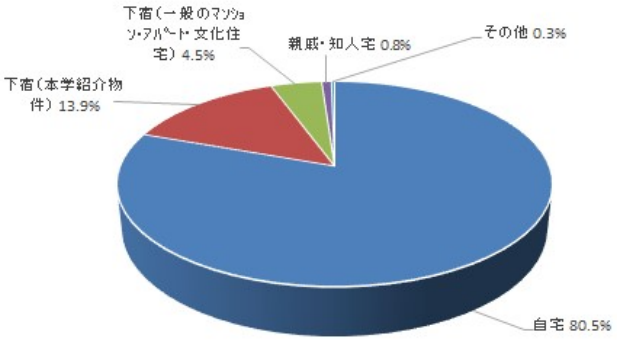



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.11 現在の住居形態は何ですか？

主に経済的理由という要因が推測され、下宿学生は近年減少傾向にあったが、前回調査時に引き続き増加傾向に転じている。「下宿（本学紹介物件）」が3.5ポイント、「下宿（一般のﾏﾝｼｮﾝ･ｱﾊﾟｰﾄ・文化住宅）」が1.3ポイント増加した。

| | 現在の住居 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 自宅 | 1,420 | 80.5% |
| 2 | 下宿（本学紹介物件） | 246 | 13.9% |
| 3 | 下宿（一般のﾏﾝｼｮﾝ･ｱﾊﾟｰﾄ・文化住宅） | 79 | 4.5% |
| 4 | 親戚・知人宅 | 15 | 0.8% |
| 5 | その他 | 5 | 0.3% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

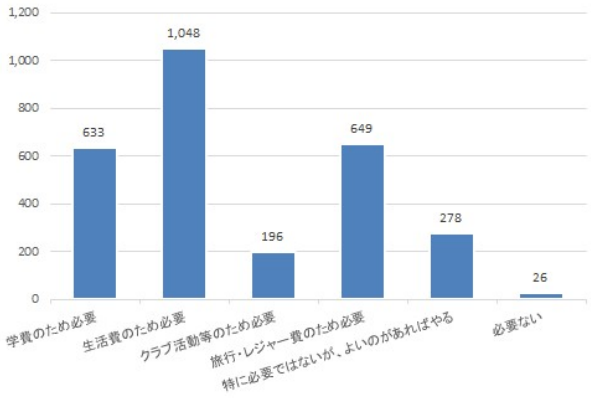



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.12 アルバイトは必要ですか？　※複数回答可

アルバイトについては年々回答件数に対する「学費のため必要」の割合が増加傾向にあり、前回調査と比較すると4.7ポイント上昇した。反対に「旅行・レジャー費のため必要」が4.3ポイント減少し、学生の厳しい経済事情が伺える。ただし、過度なアルバイトは学業に支障をきたす恐れがあり、注意が必要である。

| | アルバイトの必要性 | 人数 | 割合 |
|---|---|---|---|
| 1 | 学費のため必要 | 633 | 22.4% |
| 2 | 生活費のため必要 | 1,048 | 37.0% |
| 3 | クラブ活動等のため必要 | 196 | 6.9% |
| 4 | 旅行・レジャー費のため必要 | 649 | 22.9% |
| 5 | 特に必要ではないが、よいのがあればやる | 278 | 9.8% |
| 6 | 必要ない | 26 | 0.9% |
| | 合計 | 2,830 | 100.0% |

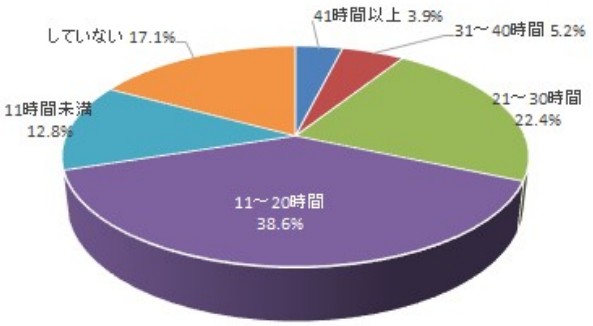



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.13 1週間のアルバイト時間は？

週30時間未満が半数以上の割合を占める結果となったが、前回調査と比較すると、全体的に減少傾向となった。ただ、Q.12で「学費のため必要」「生活費のため必要」が半数以上を占めているため、COVID-19の影響でアルバイト先の休業要請等 アルバイトをしたくてもできない状況もうかがえる。なお、週30時間超の学生も9.1%と一定数存在し、学業への支障が懸念され注意が必要である。

| | 1週間のアルバイト時間 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 41時間以上 | 69 | 3.9% |
| 2 | 31～40時間 | 91 | 5.2% |
| 3 | 21～30時間 | 395 | 22.4% |
| 4 | 11～20時間 | 682 | 38.6% |
| 5 | 11時間未満 | 226 | 12.8% |
| 6 | していない | 302 | 17.1% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

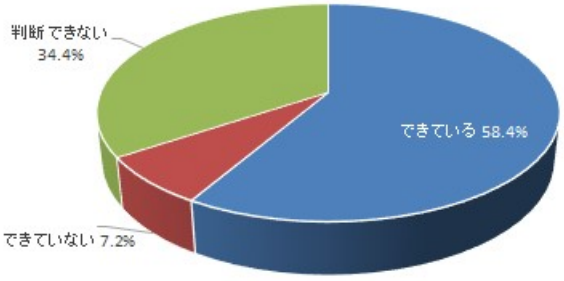



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.14 学業とアルバイトの両立について

両立ができている学生が半数を超える結果となった。一方、両立できていない学生も7.2%存在した。「Q.13」にて長時間アルバイトを行う学生がいたが、過度なアルバイトには注意が必要である。

| | 学業とアルバイトの両立について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | できている | 1,031 | 58.4% |
| 2 | できていない | 127 | 7.2% |
| 3 | 判断できない | 607 | 34.4% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

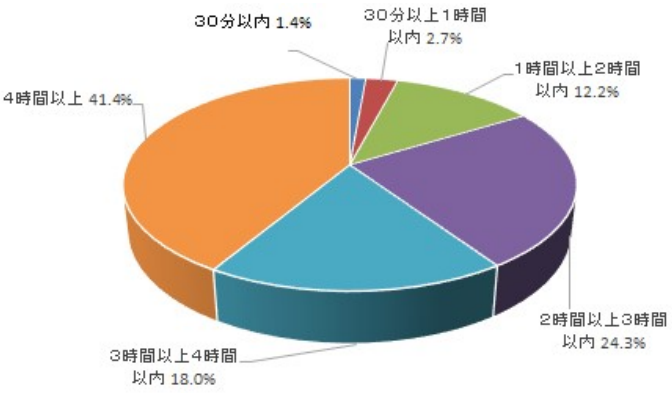



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.15 一日の携帯電話の利用時間はどのくらいですか？（通話・メール作成時間を含む）

前回調査と比較すると、携帯電話の利用時間は「2時間以内」が11.9、「4時間以上」が12ポイント減少した。利用時間が2時間を超えるのは、スマートフォンのアプリ機能など、近年電話やメール以外の諸機能が充実してきたことが影響していると考えられる。また、今回調査に限っては、COVID-19の影響で、2020年度春学期がすべてオンライン授業となったことも回答結果に影響を及ぼしていると推測される。

| | 1日の携帯電話の利用時間（通話時間やメールの作成などを含む） | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 30分以内 | 24 | 1.4% |
| 2 | 30分以上1時間以内 | 48 | 2.7% |
| 3 | 1時間以上2時間以内 | 215 | 12.2% |
| 4 | 2時間以上3時間以内 | 429 | 24.3% |
| 5 | 3時間以上4時間以内 | 318 | 18.0% |
| 6 | 4時間以上 | 731 | 41.4% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

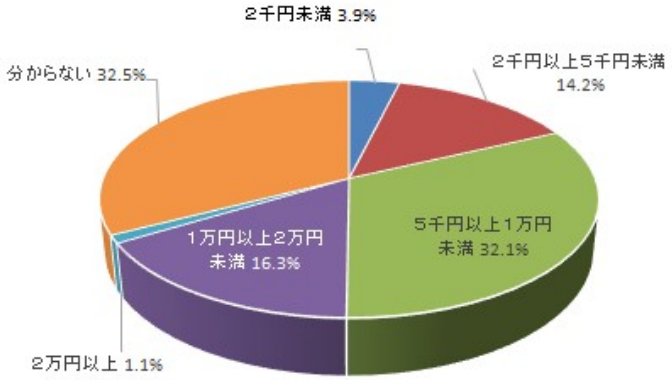



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.16 1ヵ月の携帯電話の利用料金はいくらくらいですか？

利用料金については、わからないと答えた項目の割合が約3割と料金を意識せず利用している学生が多くいることがわかった。また、割合としては5千円～1万円の利用者が一番多い結果となった。

| | 1ヵ月の携帯電話の利用料金 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 2千円未満 | 68 | 3.9% |
| 2 | 2千円以上5千円未満 | 250 | 14.2% |
| 3 | 5千円以上1万円未満 | 567 | 32.1% |
| 4 | 1万円以上2万円未満 | 287 | 16.3% |
| 5 | 2万円以上 | 19 | 1.1% |
| 6 | 分からない | 574 | 32.5% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



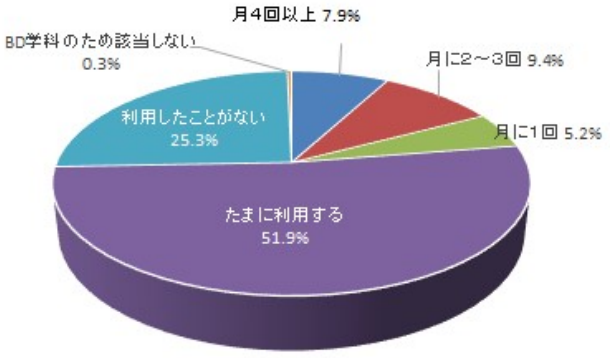

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 読書について

## Q.17 本学の図書館をどのくらいのペースで利用しますか？

「月に4回以上」の項目が前回調査時より20.3ポイント減退した。一方で「たまに利用する」が15ポイント増加した。

| | 本学図書館の利用 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 月4回以上 | 139 | 7.9% |
| 2 | 月に2～3回 | 166 | 9.4% |
| 3 | 月に1回 | 92 | 5.2% |
| 4 | たまに利用する | 916 | 51.9% |
| 5 | 利用したことがない | 446 | 25.3% |
| 6 | BD学科のため該当しない | 6 | 0.3% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

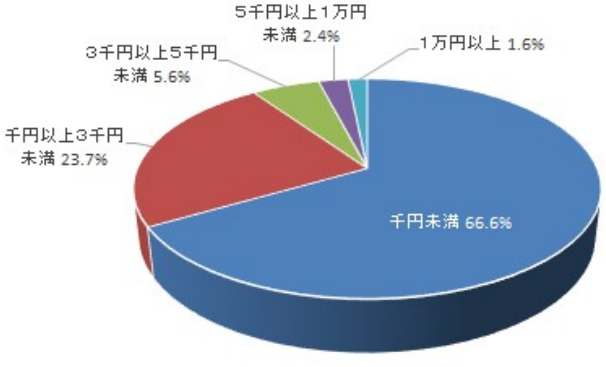



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.18 一ヵ月の読書に要する費用はいくらですか？

「千円未満」が1.8ポイント減少したが、一方で「千円以上3千円未満」が4.8ポイント「5千円以上1万円未満」が0.9ポイント「1万円以上」が0.4ポイントそれぞれ増加した。

| | 読書に関する費用（1ヵ月） | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 千円未満 | 1,176 | 66.6% |
| 2 | 千円以上3千円未満 | 419 | 23.7% |
| 3 | 3千円以上5千円未満 | 99 | 5.6% |
| 4 | 5千円以上1万円未満 | 43 | 2.4% |
| 5 | 1万円以上 | 28 | 1.6% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

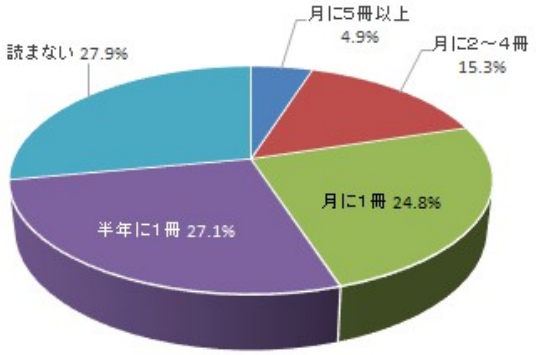



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.19 本を読むペースはどのくらいですか？

今回調査では「読まない」の項目が8.3ポイント減少し、本を読むペースに関しては、全体的に増加傾向となった。Q.17の図書館利用頻度は減少結果となったが、Q.18の読書に要する費用と併せて増加となった。

| | 1か月の読書量 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 月に5冊以上 | 87 | 4.9% |
| 2 | 月に2～4冊 | 270 | 15.3% |
| 3 | 月に1冊 | 437 | 24.8% |
| 4 | 半年に1冊 | 478 | 27.1% |
| 5 | 読まない | 493 | 27.9% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

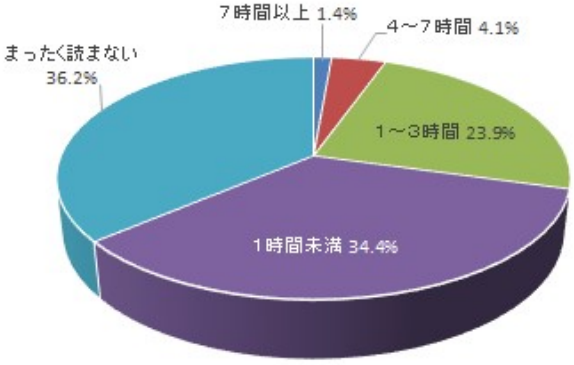



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.20 一日に読書に費やす時間はどのくらいですか？

読書に費やす時間については、前回調査時より「1時間未満」が7.5ポイント、「1～3時間」が5.2ポイント増加した。「7時間以上」が4.4ポイント、「4～7時間」が2ポイント、「全く読まない」が2.1ポイント減少している。

| | 読書に費やす時間（1日） | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 7時間以上 | 24 | 1.4% |
| 2 | 4～7時間 | 72 | 4.1% |
| 3 | 1～3時間 | 422 | 23.9% |
| 4 | 1時間未満 | 608 | 34.4% |
| 5 | まったく読まない | 639 | 36.2% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |




※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

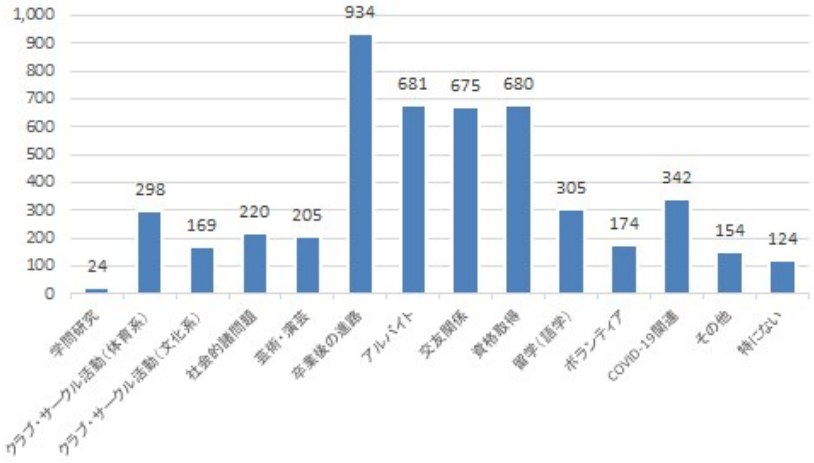
# 悩み・健康について

## Q.21 現在の関心事は何ですか？　※複数回答可

現在の関心事については、前回調査までと同様に「卒業後の進路」の回答数が最も多く、「アルバイト」、「交友関係」「資格取得」がそれに続いた。また、今回調査では、「COVID-19関連」の選択肢を追加しており、少なくない割合を占めている。

| | 現在の関心事 | 人数 |
|---|---|---|
| 1 | 学問研究 | 24 |
| 2 | クラブ・サークル活動（体育系） | 298 |
| 3 | クラブ・サークル活動（文化系） | 169 |
| 4 | 社会的諸問題 | 220 |
| 5 | 芸術・演芸 | 205 |
| 6 | 卒業後の進路 | 934 |
| 7 | アルバイト | 681 |
| 8 | 交友関係 | 675 |
| 9 | 資格取得 | 680 |
| 10 | 留学（語学） | 305 |
| 11 | ボランティア | 174 |
| 12 | COVID-19関連 | 342 |
| 13 | その他 | 154 |
| 14 | 特にない | 124 |
| | 合計 | 4,985 |

*重複回答有



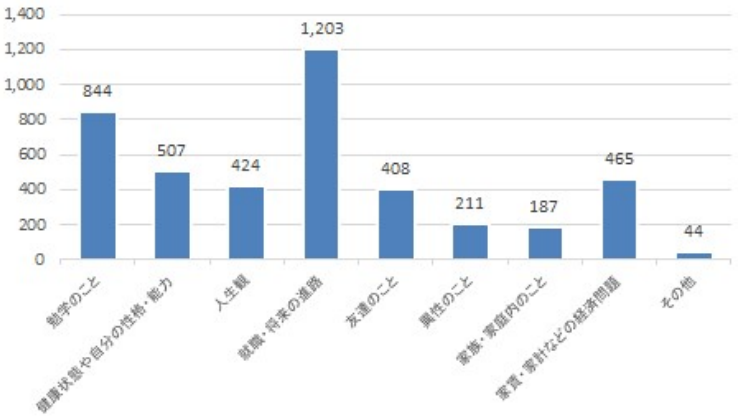

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 悩み・健康について

## Q.22　今悩んでいることはありますか？※複数回答可

「就職・将来の進路」の回答数が最も多くなった。続いて「勉学のこと」の回答が多くなっている。また、「健康状態や自分の性格・能力」についても多数回答が寄せられた。

| | 現在の悩み | 人数 |
|---|---|---|
| 1 | 勉学のこと | 844 |
| 2 | 健康状態や自分の性格・能力 | 507 |
| 3 | 人生観 | 424 |
| 4 | 就職・将来の進路 | 1,203 |
| 5 | 友達のこと | 408 |
| 6 | 異性のこと | 211 |
| 7 | 家族・家庭内のこと | 187 |
| 8 | 家賃・家計などの経済問題 | 465 |
| 9 | その他 | 44 |
| 10 | 特になし | 180 |
| | 合計 | 4,473 |

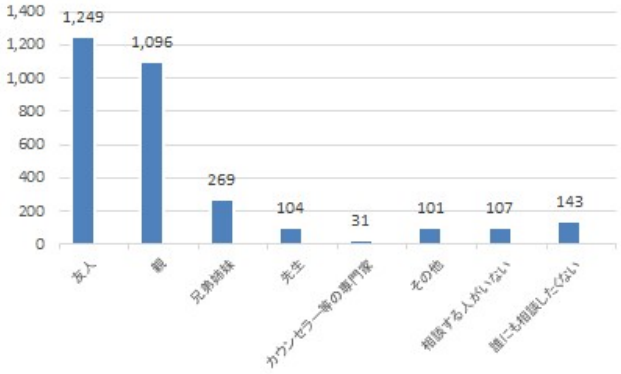



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.23 困ったとき、悩んだ時は誰に相談しますか？　※複数回答可

「友人」が最も多く、「親」が続くという、例年とほぼ同様の結果となった。本学では学生相談室の設置をはじめ、「桃山学院大学健康相談24」などの電話による健康・メンタル相談を24時間行えるようにするなど、学生相談の体制を整えているが、「カウンセラー等の専門家」に相談する人数は多くない。

| | 困った時、悩んだ時の相談相手 | 人数 |
|---|---|---|
| 1 | 友人 | 1,249 |
| 2 | 親 | 1,096 |
| 3 | 兄弟姉妹 | 269 |
| 4 | 先生 | 104 |
| 5 | カウンセラー等の専門家 | 31 |
| 6 | その他 | 101 |
| 7 | 相談する人がいない | 107 |
| 8 | 誰にも相談したくない | 143 |
| | 合計 | 3,100 |

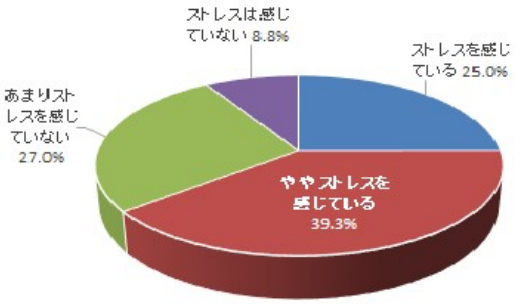



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.24 日頃ストレスを感じますか？

前回調査より「ストレスを感じている」が2.4ポイント、「ややストレスを感じている」が1.7ポイント増加し、合計が64.3%と高い割合を占めている。常日頃からストレスを感じている分、Q23のとおり身近な相談相手が重要となっている。

| | 日頃のストレスについて | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | ストレスを感じている | 441 | 25.0% |
| 2 | ややストレスを感じている | 693 | 39.3% |
| 3 | あまりストレスを感じていない | 476 | 27.0% |
| 4 | ストレスは感じていない | 155 | 8.8% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



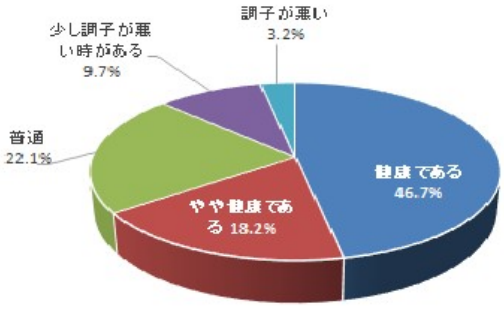

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 悩み・健康について

## Q.25 自分の健康状態をどのように感じていますか？

前回までと大きな変化は見られない。「健康である」の割合が46.7%と最も高く、「やや健康である」、「普通」と合計すると、8割以上の学生は健康上、特に問題はないと捉えているようである。

| | 日頃の健康について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 健康である | 825 | 46.7% |
| 2 | やや健康である | 322 | 18.2% |
| 3 | 普通 | 390 | 22.1% |
| 4 | 少し調子が悪い時がある | 171 | 9.7% |
| 5 | 調子が悪い | 57 | 3.2% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

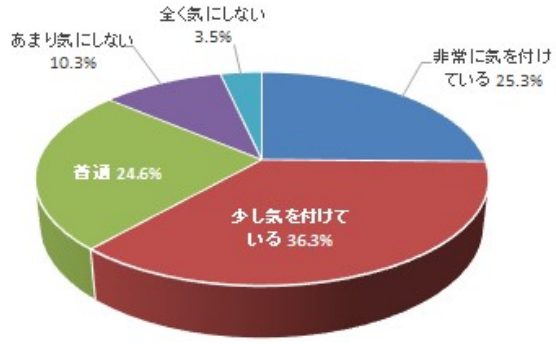



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.26 自分の健康を気遣っていますか？

前回調査時より「非常に気を付けている」が7.8ポイント、「少し気を付けている」が6.2ポイント増加し、合計すると6割以上となった。一方で「普通」が6.7ポイント、「あまり気にしない」が1.1ポイント、「全く気にしない」が1.5ポイント前回調査時より減少しており、全体的に健康に対する意識が上がっているといえる。

| | 健康についての気遣い | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 非常に気を付けている | 446 | 25.3% |
| 2 | 少し気を付けている | 640 | 36.3% |
| 3 | 普通 | 435 | 24.6% |
| 4 | あまり気にしない | 182 | 10.3% |
| 5 | 全く気にしない | 62 | 3.5% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

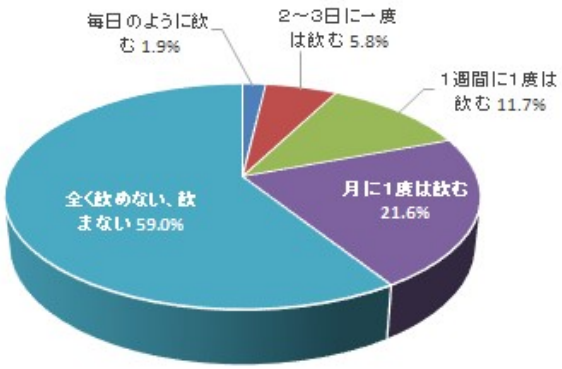



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.27 普段どのくらいお酒を飲みますか？

「月に一度は飲む」、「全く飲めない、飲まない」の割合が8割以上を占め、日常的に飲酒を行う学生は少ないことが分かる。また、「毎日のように飲む」が3.9ポイント、「２～３日に一度は飲む」が2.0ポイント、「１週間に一度は飲む」が3.3ポイントと前回調査時よりそれぞれ減少しており、飲酒の機会自体が減っていることがうかがえる。ここにもCOVID-19による影響がみてとれる。

| | 飲酒について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 毎日のように飲む | 33 | 1.9% |
| 2 | 2～3日に一度は飲む | 102 | 5.8% |
| 3 | 1週間に一度は飲む | 206 | 11.7% |
| 4 | 月に一度は飲む | 382 | 21.6% |
| 5 | 全く飲めない、飲まない | 1,042 | 59.0% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

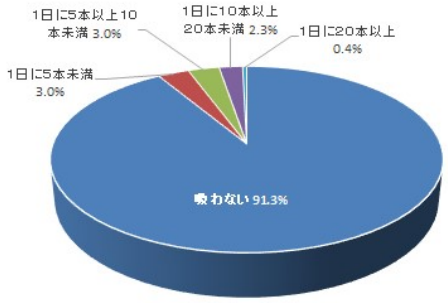



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.28 普段どのくらい煙草を吸いますか？※重複回答者一部含む

前回の調査に比べ「吸わない」とする回答が9.7ポイント増加した。喫煙者の割合が大きく減少した。

| | 喫煙について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 吸わない | 1,612 | 91.3% |
| 2 | １日に５本未満 | 53 | 3.0% |
| 3 | １日に５本以上１０本未満 | 53 | 3.0% |
| 4 | １日に１０本以上２０本未満 | 40 | 2.3% |
| 5 | １日に２０本以上 | 7 | 0.4% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

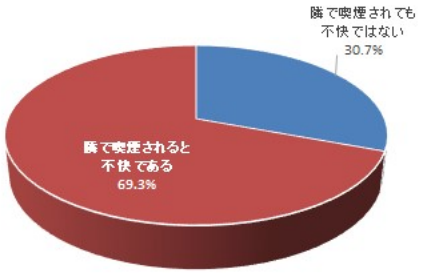



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.29 指定場所以外での喫煙についてどう思いますか？

本設問も前回調査とほぼ同じで、「隣で喫煙されて不快である」が69.3%と大半を占めた。本項目は、指定場所以外での喫煙に関する嫌煙調査であり、過去の調査でも注意喚起を行って欲しい旨の意見が多く寄せられる。今後も喫煙マナーキャンペーンを継続実施し、全ての学生が快適に過ごせるキャンパスを構築していきたい。

| | 嫌煙について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 隣で喫煙されても不快ではない | 542 | 30.7% |
| 2 | 隣で喫煙されると不快である | 1,223 | 69.3% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

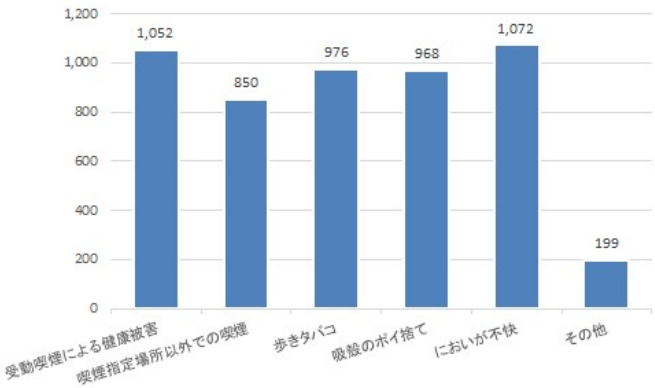



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.30 Q.29の質問について不快と思う理由　※複数選択可

受動喫煙について、健康被害が気になる、におい、歩きタバコが不快と回答する意見が多く、指定場所以外での喫煙やポイ捨てなどについても多くの学生が回答をしている。

| | 不快と思う理由 | 人数 |
|---|---|---|
| 1 | 受動喫煙による健康被害 | 1,052 |
| 2 | 喫煙指定場所以外での喫煙 | 850 |
| 3 | 歩きタバコ | 976 |
| 4 | 吸殻のポイ捨て | 968 |
| 5 | においが不快 | 1,072 |
| 6 | その他 | 199 |
| | 合計 | 5,117 |

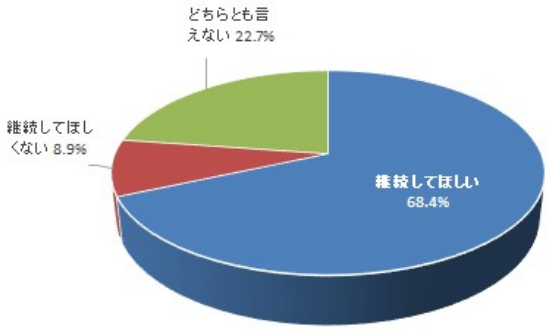



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.31　2020年12月現在、学内全面禁煙としていることについてどう思いますか？

今年度はCOVID-19の影響により「３つの密を避ける」目的から学内は全面禁煙とした。学内全面禁煙については「継続してほしい」が68.4%と過半数を占めた。

| | 学内全面禁煙について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 継続してほしい | 1,207 | 68.4% |
| 2 | 継続してほしくない | 157 | 8.9% |
| 3 | どちらとも言えない | 401 | 22.7% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

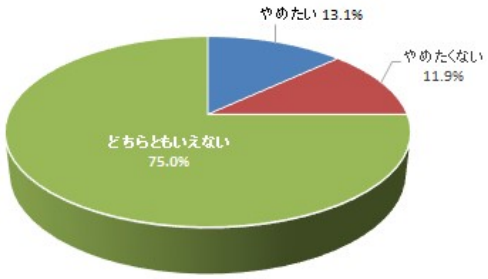



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.32【喫煙者の方へ】喫煙をやめたいと思いますか？

「どちらとも言えない」と答えた学生が一番多かった。

| | 喫煙をやめたいか | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | やめたい | 46 | 13.1% |
| 2 | やめたくない | 42 | 11.9% |
| 3 | どちらともいえない | 264 | 75.0% |
| | 合計 | 352 | 100.0% |




※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

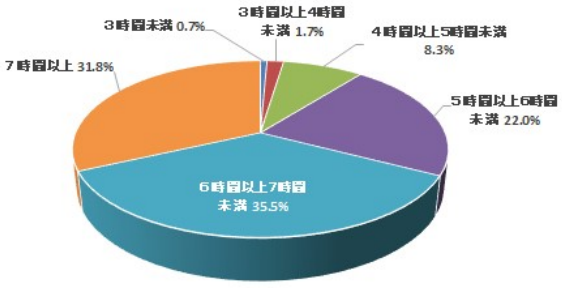
# 悩み・健康について

## Q.33 普段の睡眠時間はどのくらいですか？※重複回答者一部含む

前回調査時より「6時間以上7時間未満」が12.3ポイント、「7時間以上」が24.5ポイント増加した。厚生労働省の調査によると、成人の睡眠時間は6時間以上～８時間未満がボリュームゾーンであり、約６割の人がここに属していると言う。前回調査との比較においても、睡眠時間を長くとる学生が増えたと言える。

| | 睡眠時間 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | ３時間未満 | 12 | 0.7% |
| 2 | ３時間以上４時間未満 | 30 | 1.7% |
| 3 | ４時間以上５時間未満 | 146 | 8.3% |
| 4 | ５時間以上６時間未満 | 388 | 22.0% |
| 5 | ６時間以上７時間未満 | 627 | 35.5% |
| 6 | ７時間以上 | 562 | 31.8% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

※重複回答を含む

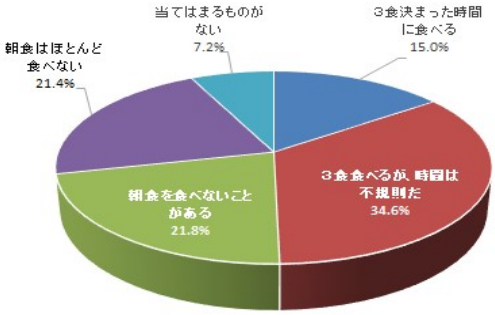



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.34 自分の食生活について一番あてはまるものは何ですか？　※重複回答者一部含む

これも前回調査時までと同様に「3食食べるが、時間は不規則だ」の割合が34.6%と最も高かった。前回調査時より「３食決まった時間に食べる」が11.5ポイント減少した。

| | 食生活について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | ３食決まった時間に食べる | 265 | 15.0% |
| 2 | ３食食べるが、時間は不規則だ | 611 | 34.6% |
| 3 | 朝食を食べないことがある | 384 | 21.8% |
| 4 | 朝食はほとんど食べない | 378 | 21.4% |
| 5 | 当てはまるものがない | 127 | 7.2% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



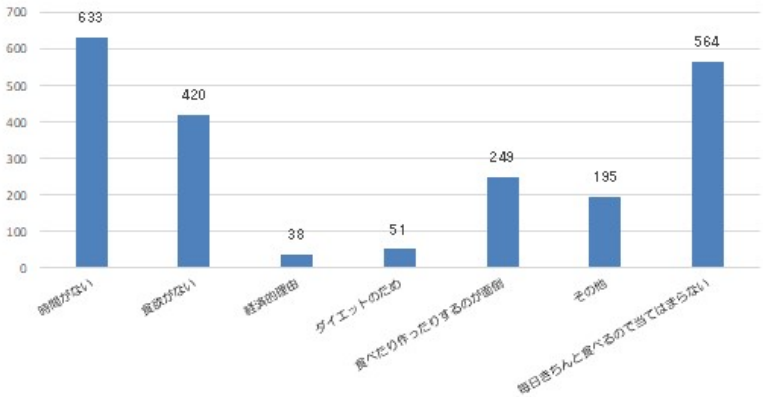

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.35 朝食を食べないことがある場合、その理由は？　※複数回答可

朝食を食べないことがある場合の理由については、前回までと同様に「時間がない」を選択する学生が最も多かった。

| | 朝食を食べない理由 | 人数 |
|---|---|---|
| 1 | 時間がない | 633 |
| 2 | 食欲がない | 420 |
| 3 | 経済的理由 | 38 |
| 4 | ダイエットのため | 51 |
| 5 | 食べたり作ったりするのが面倒 | 249 |
| 6 | その他 | 195 |
| 7 | 毎日きちんと食べるので当てはまらない | 564 |
| | 合計 | 2,150 |

＊複数回答可

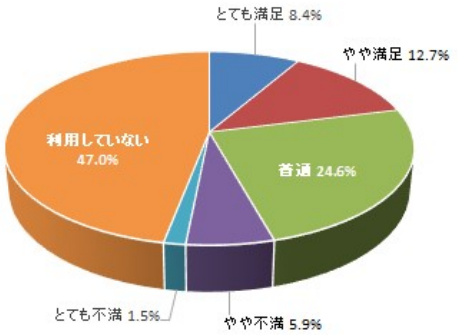



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.36 大学の食堂に満足していますか？

ＣＯＶＩＤ-19の影響もあってか、「利用していない」という意見が最も多かった。ついで多かったのが「普通」という意見で、満足・不満については前回調査時よりそれぞれ減少した。

| | 食堂の満足度 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | とても満足 | 148 | 8.4% |
| 2 | やや満足 | 224 | 12.7% |
| 3 | 普通 | 434 | 24.6% |
| 4 | やや不満 | 104 | 5.9% |
| 5 | とても不満 | 26 | 1.5% |
| 6 | 利用していない | 829 | 47.0% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

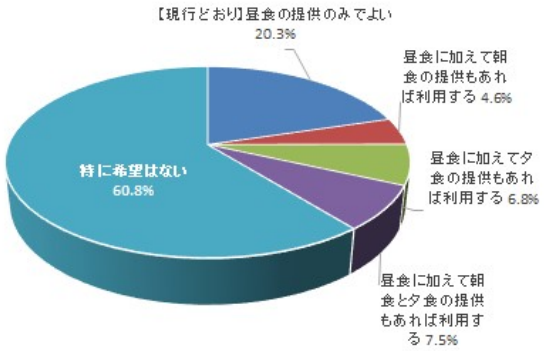



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.37 大学での食事の提供（食堂の営業）についてどう思いますか？

「特に希望はない」という意見が最も多かったが、一方で、「昼食に加えて夕食の提供もあれば利用する」「昼食に加えて朝食と夕食の提供もあれば利用する」が合計して14.3%を占めた。今年度は初めて100円夕食キャンペーンを実施した。

| | 食堂の営業時間について | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 【現行どおり】昼食の提供のみでよい | 359 | 20.3% |
| 2 | 昼食に加えて朝食の提供もあれば利用する | 81 | 4.6% |
| 3 | 昼食に加えて夕食の提供もあれば利用する | 120 | 6.8% |
| 4 | 昼食に加えて朝食と夕食の提供もあれば利用する | 132 | 7.5% |
| 5 | 特に希望はない | 1073 | 60.8% |
| | 合計 | 1765 | 100.0% |

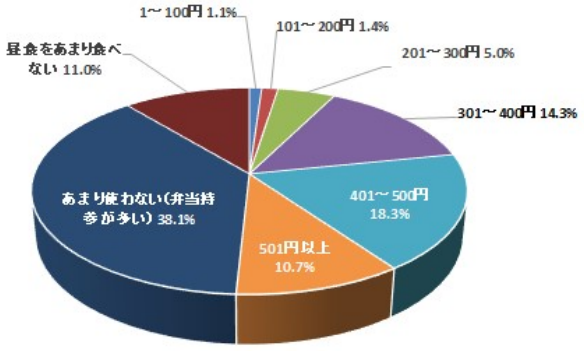



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.38 大学での昼食に使う金額は？（1回あたりの平均）

前回調査では「401～500円」が一番多かったが、今回は「あまり使わない（弁当持参が多い）」の回答が一番多く、Q.36で食堂を利用していないという回答に対応する結果となった。

| | 大学での昼食代 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1～100円 | 19 | 1.1% |
| 2 | 101～200円 | 25 | 1.4% |
| 3 | 201～300円 | 88 | 5.0% |
| 4 | 301～400円 | 253 | 14.3% |
| 5 | 401～500円 | 323 | 18.3% |
| 6 | 501円以上 | 189 | 10.7% |
| 7 | あまり使わない（弁当持参が多い） | 673 | 38.1% |
| 8 | 昼食をあまり食べない | 195 | 11.0% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



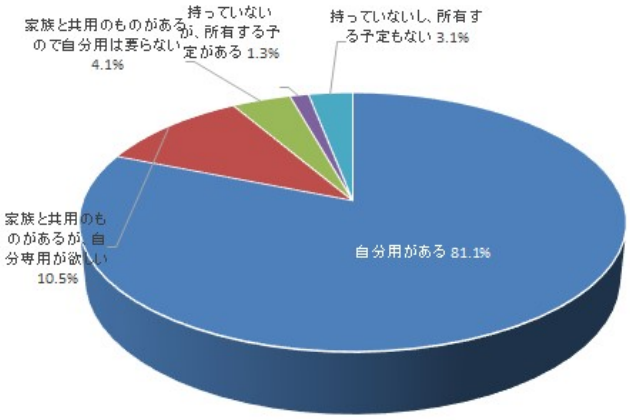

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 情報関連について

## Q.39 パソコンを持っていますか？

今回も「自分用がある」の割合が81.1%と割合が高く、家族と共用のものがある、という回答と合わせると95.7%となった。COVID-19の影響により遠隔授業でモバイル情報端末の使用が必須となったことが要因のひとつと推測される。

| | パソコン保有状況 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 自分用がある | 1,431 | 81.1% |
| 2 | 家族と共用のものがあるが、自分専用が欲しい | 185 | 10.5% |
| 3 | 家族と共用のものがあるので自分用は要らない | 72 | 4.1% |
| 4 | 持っていないが、所有する予定がある | 23 | 1.3% |
| 5 | 持っていないし、所有する予定もない | 54 | 3.1% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

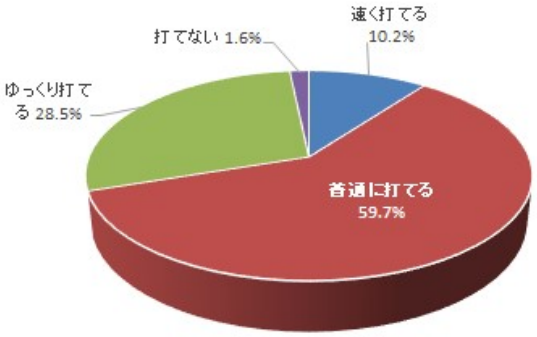



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.40 タイピング能力はどの程度ですか？

前回までと同様に「普通に打てる」の割合が59.7%と最も高い割合となった。COVID-19の影響により遠隔授業でパソコンを使用する機会が圧倒的に増えたことが要因であろう。「打てない」の割合は1.6%で前回調査時より1.1ポイント減少した。

| | タイピング習得状況 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 速く打てる | 180 | 10.2% |
| 2 | 普通に打てる | 1,053 | 59.7% |
| 3 | ゆっくり打てる | 503 | 28.5% |
| 4 | 打てない | 29 | 1.6% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

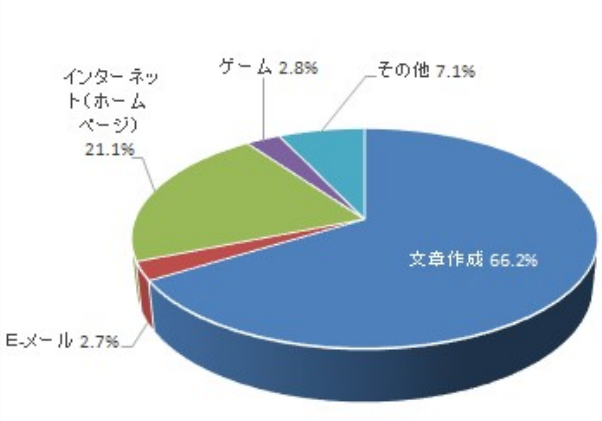



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.41 パソコンをどんな目的で使いますか？

パソコンの利用目的については、前回調査時と同様「文章作成」の割合が66.2%と最も高い割合を占めた。続いてインターネットが21.1%と続いた。

| | パソコンの主たる利用目的 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 文章作成 | 1,169 | 66.2% |
| 2 | E-メール | 48 | 2.7% |
| 3 | インターネット（ホームページ） | 373 | 21.1% |
| 4 | ゲーム | 50 | 2.8% |
| 5 | その他 | 125 | 7.1% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



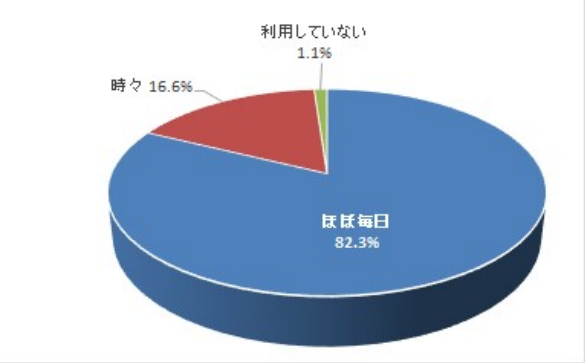

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 情報関連について

## Q.42 インターネットの利用頻度はどのくらいですか？

「ほぼ毎日」「時々」の合計がほぼ100%に近い回答となった。前回調査時と比べて「ほぼ毎日」は28.2ポイント増加した。

| | インターネットの利用 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | ほぼ毎日 | 1,452 | 82.3% |
| 2 | 時々 | 293 | 16.6% |
| 3 | 利用していない | 20 | 1.1% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

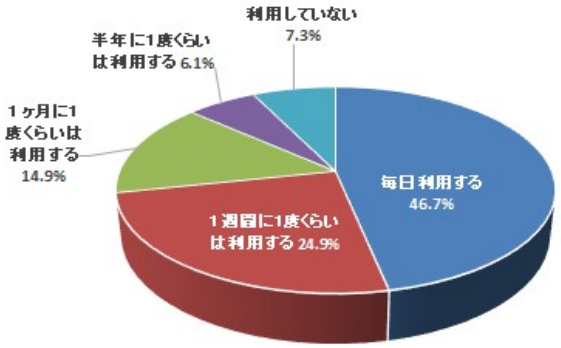



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.43 本学のホームページを利用しますか？

2011年度よりWeb履修登録やポータルサイトの運営（M-Port）が始まったことで、利用頻度の大幅な向上が見られたが、今回調査は特に「毎日利用する」の割合が26.3ポイント増加した。遠隔授業や大学からの情報収集により利用頻度が増加したと思われる。

| | 本学ホームページの利用 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 毎日利用する | 825 | 46.7% |
| 2 | 1週間に1度くらいは利用する | 440 | 24.9% |
| 3 | 1ヶ月に1度くらいは利用する | 263 | 14.9% |
| 4 | 半年に1度くらいは利用する | 108 | 6.1% |
| 5 | 利用していない | 129 | 7.3% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

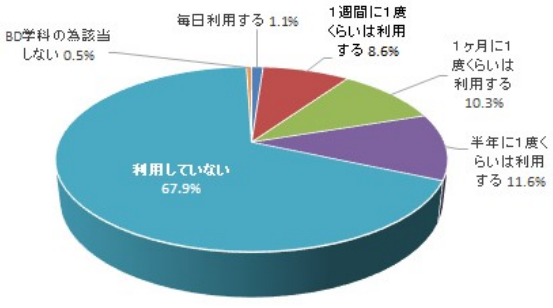



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.44 情報センターの自習室（PCロビー室含）をどのくらい利用しますか？

「利用していない」の割合が67.9%と最も高く、「1週間に1度くらいは利用する」が前回調査時より23.0ポイント減少となった。COVID-19の影響により、対面授業が減ったことでキャンパスにくる機会が少なくなったことが要因として考えられる。

| | 情報センター自習室（ＰＣロビー含む）の利用 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 毎日利用する | 20 | 1.1% |
| 2 | 1週間に1度くらいは利用する | 151 | 8.6% |
| 3 | 1ヶ月に1度くらいは利用する | 181 | 10.3% |
| 4 | 半年に1度くらいは利用する | 205 | 11.6% |
| 5 | 利用していない | 1,199 | 67.9% |
| 6 | BD学科の為該当しない | 9 | 0.5% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



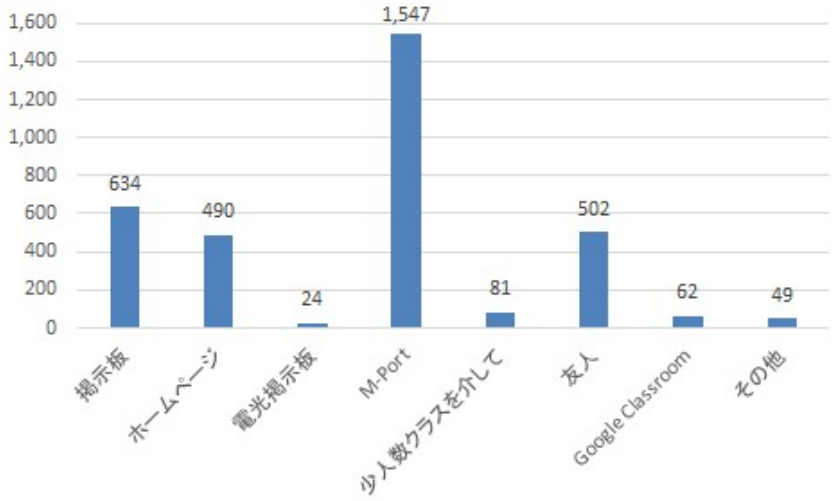

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 情報関連について

## Q.45 本学からの情報はどこで取得していますか？　※複数回答可

M-Portと答えた学生が最も多かった。COVID-19の影響でM-Portを活用した遠隔授業の実施が要因のひとつと思われる。また今年度からビジネスデザイン学科も回答対象としたことから「GoogleClassroom」の選択肢を設けた。

| | 本学からの情報取得手段 | 人数 |
|---|---|---|
| 1 | 掲示板 | 634 |
| 2 | ホームページ | 490 |
| 3 | 電光掲示板 | 24 |
| 4 | M-Port | 1,547 |
| 5 | 少人数クラスを介して | 81 |
| 6 | 友人 | 502 |
| 7 | Google Classroom | 62 |
| 8 | その他 | 49 |
| | 合計 | 3,389 |




※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.46 本学から送信されたメールは見ていますか？

前回調査時より「必ず見る」が12.6ポイント増加し、「必ず見る」「たまに見る」の合計が96.4%であった。M-Portからの通知をGmailへ転送設定している学生が多いことに加えて、COVID-19の影響で重要な情報収集ツールのひとつとして活用されていたと推測される。

| | 本学から送信されたメールを見ているか | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 必ず見る | 843 | 47.8% |
| 2 | たまに見る | 858 | 48.6% |
| 3 | 見ない | 64 | 3.6% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.47 M-Portのお知らせは見ていますか？

前回調査時より「必ず見る」が15.5ポイント増加し、「たまに見る」と合わせて97%となった。COVID-19の影響でM-Portを活用した遠隔授業の実施に伴いM-Portから情報収集をする意識が定着したといえる。

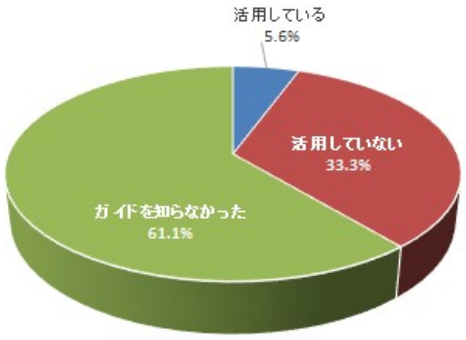
| | M-Portのお知らせ | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 必ず見る | 847 | 48.0% |
| 2 | たまに見る | 865 | 49.0% |
| 3 | 見ない | 53 | 3.0% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.48 Campus Guide（大学HP掲載の学生生活に関わる総合ガイド）を活用していますか？

新入生が大学生活に早く馴染めるよう、新入生向けの「Campus Guide」を本学HPにて公開しているが、前回調査時から「ガイドを知らなかった」が22.5ポイント増加し、「活用していない」と合わせて94.4%となった。

| | Campus　Guideの活用 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 活用している | 99 | 5.6% |
| 2 | 活用していない | 588 | 33.3% |
| 3 | ガイドを知らなかった | 1,078 | 61.1% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |



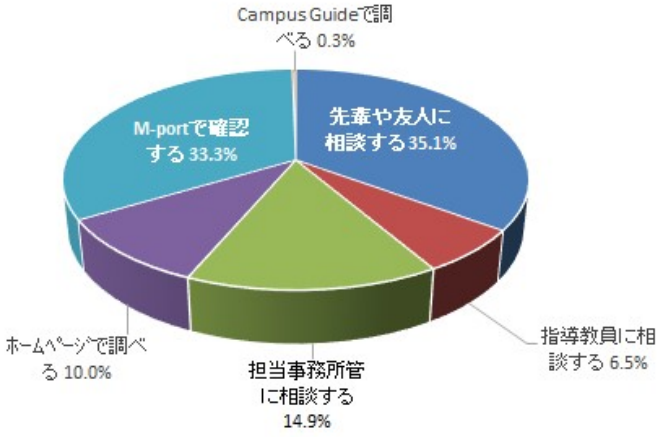

※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

## Q.49 学生生活の中で、どのような手続きをすべきかわからないことがあった場合、どう対処していますか？

例年高い割合を占める「先輩や友人に相談する」が前回調査時より6.2ポイント減少し、「M-Portで確認する」が19.3ポイント増加した。Q.23と同様に身近な存在である「先輩・友人」に相談する割も高いが、それと同じくらい「M-Port」から情報収集している割合が多い結果となった。COVID-19の影響で主な情報発信の手段となったことも要因のひとつだと思われる。

| | Campus Guideの活用 | 人数 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 先輩や友人に相談する | 619 | 35.1% |
| 2 | 指導教員に相談する | 114 | 6.5% |
| 3 | 担当事務所管に相談する | 263 | 14.9% |
| 4 | ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞで調べる | 177 | 10.0% |
| 5 | M-portで確認する | 587 | 33.3% |
| 6 | Campus Guideで調べる | 5 | 0.3% |
| | 合計 | 1,765 | 100.0% |

※重複回答者を含む




※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

# 自由記述について

2020年度の調査ではCOVID-19による影響が色濃く出た結果となった。自由記述欄では、授業に関すること、健康に関すること、経済支援・学費に関することを中心に意見が寄せられた。特に授業については、対面授業がなくなったことによる遠隔授業の実施方法や学費に関する不満の声が寄せられた一方、通学費用や感染リスクへの不安から遠隔授業の実施を要望する声など様々な意見があった。またアルバイトの勤務時間が減ったことによる収入の減少や就職活動に関する不安、友人が欲しい、サークル活動をしたい等の意見が寄せられた。

St. Andrew's University
SEQUIMINI ME
ESTABLISHED 1959